

上級弁論第二位

決してあきらめない

ショヒナ・アミノヴァ（言語大学）

みなさんに質問があります。何かをするために一生懸命努力しても失敗してしまったらどうしますか。失敗は人にどんな影響を与えますか。そして、失敗したあとも人は努力して頑張ったほうがいいのでしょうか。それとも、失敗したら何もしないほうがいいのでしょうか。失敗しても、またもっと努力する人もいますが、「こんなに努力したのに、どうして失敗したのか。それなら、努力しても今度もまた失敗する」と思って希望をなくす人もいます。では、何もしないであきらめるのは正しいことでしょうか。このことについてよく考えてみたいと思います。

以前、私も一生懸命努力して勉強したのに試験に失敗したことがあります。その時は本当にがっかりしました。「あんなに努力して勉強したのに、どうしてこんな結果になったのか」と自分に何回も聞きました。友達に相談したら、友達は「それは運命です。いくら努力しても失敗する運命なら、勉強するのは無駄なことです。だから、そんなに勉強するのはやめたほうがいいよ」と言いました。その友達の言葉は私を怒らせ、もっと一生懸命努力してがんばろうという気持ちにさせました。

私は一生懸命努力したのに失敗した時、何もしないであきらめるのは正しくないと思います。仕事で失敗したからと言って、あきらめて働かなくなったら、どうやって自分の生活を守ることができますか。試験に失敗したからと言って、あきらめて勉強しなかったら、どうやって自分の夢をかなえますか。あきらめてばかりいる人生は面白くないし、もし、みんながそうしたらこの世界はどうなるのでしょうか。

また、友だちのように運命だけを信じる人がいます。そんな人は努力しても意味がないと思って、時間の流れと共に生きているだけです。タジキスタンに昔からこんな話があります。男の人がある日、川に落ちました。彼は泳ぐことができず、たくさんの丸太が彼のそばに浮いているのに彼はそれらをつかむことすらしませんでした。そして、ただ「もし生きる運命なら私は生き残るでしょう」と考えていただけでした。しかし、彼は川の中に沈んで亡くなってしまいました。もし、彼がちょっとでも生きる努力をしたら彼は生き残ったかもしれません。

私は運命を全く信じていないわけではありません。でも、もし、私たちが、

運命だと言って何もしないで努力しなかったら、人生で何も成し遂げることができないでしょう。「決して飛ばない鳥よりも、時々落ちたほうがいい」これは、イギリスの作家、オスカー・ワイルドが言った言葉です。もし、一生懸命努力したら、いつかそのことは自分の力になって夢もかなうと思います。

しかし、この時ひとつの問題がでてきます。いくら努力しても自分の力が足りなくて目的が達成できないことがあります。もし、自分の力が足りないとわかった時どうしたらいいのでしょうか。その時は、もう一度自分の目的についてよく考えたほうがいいかもしれません。自分の力にあった夢や目的を見つけて努力すればいいと思います。努力して、いい結果になるか悪い結果になるかはわかりません。でも、ただ一つのことわかります。いくら失敗しても私は決してあきらめないということです。